令和８年１１月１９日

報道機関各位

青森県立美術館

「ウェルカム・バック、ナンシー関！」関連トークイベント 「いまこそ、ナンシー関について語ろう」（仮題） いとうせいこう　×　望月秀城　を開催します

青森県立美術館では、10 月 10 日から開催している、コレクション展 2026-3 特集展示「ウェルカム・バック、ナンシー関！」 の関連トークイベントとして、「いまこそ、ナンシー関について語ろう」 いとうせいこう　×　望月秀城　を開催しますので、取材してくださるようお願いします。

記

1　概要

（1）開催日時　　2026 年 12 月 1 日（火）13:30～15:00　※ 開場：13:00～

（2）登 壇 者　　いとうせいこう（作家・クリエーター）　×　望月秀城（ナンシー関ボン研究所 理事）
※登壇者のプロフィールは別紙のとおり

（3）会　　場　　青森県立美術館シアター

（4）料　　金　　無料

（5）定　　員　　200 名（予約不要、先着順）

2　トーク内容

ナンシー関と関わりの深いお二人に、懐かしのエピソードからあさ虫温泉フェス、デジタルアーカイブ・プロジェクトに至るまで、ナンシー関の作品の魅力や彼女の仕事から学ぶべきことなど、過去から未来まで存分にお話ししてもらいます。

3　当日の取材申込

取材を希望される場合は、11 月 27 日（金）までに下記担当者へお電話にてご連絡ください。

報道機関用提出資料（連絡先）	
担　　当	青森県立美術館　美術企画課 担当：忍（おし）、松江
電話番号	017-782-1919
所属長	青森県立美術館副館長　坪　健一

別　紙

＜登壇者プロフィール＞

いとうせいこう　氏

作家・クリエーター。1961 年に東京都に生まれる。1985 年、雑誌『Hot-Dog Press』（講談社）の編集長を務めている時期にナンシー関（関直美）と出会い名付け親となる。彼女の初期のコラムや連載企画から共に携わる。作家としては 1988 年に小説『ノーライフキング』でデビュー。1999 年、『ボタニカル・ライフ―植物生活―』で第 15 回講談社エッセイ賞、2013 年、東日本大震災をテーマにした『想像ラジオ』で第 35 回野間文芸新人賞を受賞。近著に『見仏記　三十三年後の約束』（共著、2025 年）、『日日是植物』（2026 年）などがある。また日本語ラップの先駆者のひとりであり、現在はロロロ（クチロロ）、いとうせいこう is the poet（ITP）で音楽活動も行う。

望月　秀城（もちづき・ひでき）氏

一般社団法人ナンシー関ボン研究所・理事。1961 年に静岡市に生まれる。ナンシー関とは、大学時代に広告批評主催の〈広告学校〉で出会い友人となる。早稲田大学卒業後、1983 年に（株）PARCO 入社。その後、1990 年に（株）ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社、アート部門を立ち上げビジュアルアーティストの発掘育成や商品企画などを手掛けた。ソニー退職後は大学で美術を学び、2024 年に京都上七軒に「Art Gallery GE-SEN（藝泉）」をオープン。また現在は、一般社団法人ナンシー関ボン研究所の理事として、消しゴムハンコの 3D デジタルアーカイブ・プロジェクトやウェブ上のデジタルミュージアムの公開などを主催している。



いとうせいこう氏



望月　秀城　氏